KEIO UNIVERSITY SFC

SFC TECH 2026

2026.11.24

TUE / MITA, TOKYO

慶應義塾大学 三田キャンパス 北別館

慶應義塾大学 SFC の先端テクノロジー研究が三田に集結

―都市型研究発信イベント「SFC Tech 2026」を 11 月 24 日に開催―

AI、ロボティクス、モビリティ、次世代インターネット、量子ネットワークまで。これからの社会をつくる Tech を展示と議論で発信

SFC のテック研究を都市の場に開き、研究者、企業、行政、学生など、さまざまな人々が出会い、語り合うための研究発信の場。

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）では、2026 年 11 月 24 日（火）、慶應義塾大学　三田キャンパス 北別館にて、SFC で進めている先端テクノロジー研究を広く社会に発信するイベント「SFC Tech 2026」を開催します。

インターネットの黎明期からさまざまな新しい情報技術とその社会実装に取り組んできた SFC。現在では、AI、IoT、ロボティクス、モビリティ、サイバーセキュリティ、量子ネットワークなど、研究領域は社会の変化とともに広がり続けています。

SFC Tech 2026 は、こうした研究をキャンパスの外へと開き、研究者・企業・行政・学生など、多様な人々との新しい接点を生み出す都市型研究発信イベントです。研究展示・デモンストレーションと、AI 前提社会の教育、量子ネットワーク、トラスト＆セキュリティなどをテーマとするセッションを通じて、新たな研究の創出や共同研究、社会実装につながる交流を促します。

DATE	VENUE	ENTRY
2026.11.24（火） 13:00～17:00	慶應義塾大学 三田キャンパス 北別館	どなたでも参加可 事前登録推奨

02 SFC の Tech を「見る・触れる」研究展示

EXHIBITION

AI、モビリティ、インターネット、セキュリティ、ロボティクス、量子技術など、SFC で進められている幅広い研究が集まります。ポスターだけでなく、実際に動くシステムやデバイス、社会実装を想定したプロトタイプなどを通して、研究の現在地とその先の社会を体験できます。

EXHIBIT 01



AI 人材育成と地域活性化

古谷 知之 ／ 総合政策学部 教授
中島 有希大 ／ 政策・メディア研究科 特任助教（有期）

福島イノベーション・コースト構想の「復興知」事業で進めている、AI 人材育成を通じた復興支援の取り組みを紹介します。

EXHIBIT 02



AI システム

川島 英之 ／ 環境情報学部 教授

データ基盤、光・量子などの新しい計算技術、AI が労働に与える影響、AI の実行時間予測や最適化器など、幅広い AI システム研究を紹介します。

EXHIBIT 03



Object-Routing：統一リソースモデルに基づく安全な AI エージェント実行カーネルの設計

川越 航太 ／ 政策・メディア研究科 修士課程
服部 隆志 ／ 環境情報学部 教授

LLM を用いた AI エージェントが外部ツールや環境と連携する際の安全性と効率性を高める、新しい実行基盤を紹介します。

EXHIBIT 04



Ubiquitous AI-Human Systems for New Well-being

大越 匡 ／ 環境情報学部 教授

気候変動や人口減少などに伴う新しい well-being の実現に向け、Ubiquitous AI、Sensing AI、Behavioral AI のシステム研究を紹介します。

EXHIBIT 05



分散型量子システム：実現と可能性

バンミーター ロドニー ／ 環境情報学部 教授

量子計算機を大規模化する量子インターコネクト、データセンターネットワーク、量子インターネットなどの研究を紹介します。

EXHIBIT 06



インターネットの未来

植原 啓介 ／ 環境情報学部 教授

大規模ネットワークの運用技術、移動体インターネット、宇宙インターネットなど、次世代インターネット技術を紹介します。

EXHIBIT 07



量子トポロジー

清水 達郎 ／ 総合政策学部 専任講師

量子論の考え方をヒントに、図形の性質を探究する純粋数学の研究を紹介します。量子技術そのものとは異なる幾何学の世界に触れられます。

EXHIBIT 08



セキュリティイノベーション～徹底的に利用者目線

森山 光一 ／ 環境情報学部 教授（有期）

利用者の視点から安全性と利便性を捉え直すセキュリティ研究と、NTT ドコモとの取り組みを含む社会実装を紹介します。

EXHIBIT 09



デジタルツインキャンパス

中村 修 ／ グローバルリサーチインスティテュート 特任教授（有期）

5G・6G、センサ、AI、3 次元高精度地図などを組み合わせ、キャンパスを実証基盤として次世代の情報空間やその社会実装を探究します。

EXHIBIT 10



ドローン・メディア表現・AI アプリケーション・AI 安全性

武田 圭史 ／ 環境情報学部 教授

ドローンショー、空中 LED、プロジェクションマッピングなどの新しい表現技法に加え、AI アプリケーション開発や AI 安全性の研究を紹介します。

EXHIBIT 11



スマートモビリティ

大前 学 ／ 環境情報学部 教授

自動車の自動運転技術をはじめ、人とモビリティの新しい関係をつくる研究の取り組みを紹介します。

EXHIBIT 12



Human-centric Robotics Design・人に寄り添うロボットをつくる

タ デゥック トゥン ／ 環境情報学部 准教授（有期）

ソフトロボット、触覚センシング、AI を通じて、人や環境に柔軟に適応し、多様な物体やタスクに対応するロボットを紹介します。

EXHIBIT 13



Social Robotics と XR によるしなやかな地域未来の創造

高汐 一紀 ／ 環境情報学部 教授

ロボティクス、XR、AI グラスなどを活用し、平時の暮らしから災害時までをシームレスにつなぐ地域情報基盤を紹介します。

EXHIBIT 14



3D プリントと数理構造

谷口 朝洋 ／ 政策・メディア研究科 博士課程
巴山 竜来 ／ 環境情報学部 准教授

3D プリントで用いる積層造形構造に、数理的な手法を応用した技術を紹介します。

EXHIBIT 15

社会の複雑課題を解決に導く複合領域での産学連携

KGRI Ideation & Activation ユニット

企業・自治体の複雑な課題に、分野横断の研究者と多彩な学知を結集。学術的エビデンスに基づく課題解決と社会実装を目指します。

EXHIBIT 16



Real-World AI — 実世界で動く AI をつくる —

中澤 仁 ／ 環境情報学部 教授

カメラ、センサ、車両、ロボットなどを通じて実世界を観測し、その場で理解・行動につなげる AI。センシング、Edge AI、AIoT、リアルタイム推論、QoS 制御と社会実装を紹介します。

展示内容の詳細

SFC Tech 2026 公式 Web サイト

https://www.tech.sfc.keio.ac.jp/

03 研究から社会へ。3 つのセッション

PROGRAM

研究展示と並行して、教育・産業・行政・研究の異なる立場から、AI 時代の社会と情報基盤を議論します。セッションの追加・変更は公式 Web サイトで順次お知らせします。

13:45–14:45 AI 前提社会を生きる新しい力

PANEL

— 社会の要請と中高等教育 —

生成 AI を禁止するか許可するかという議論を越え、自ら問いを立て、AI の出力を批判的に吟味し、判断し、結果に責任を持つ力を中等・高等教育でどう育てるか。教育者、行政、企業、学生がそれぞれの立場から議論します。

登壇者 朝倉慶介（ソフトバンク）／角田史記（JR 東日本）／中村百見（静岡市教育長）／山本覚（電通デジタル）／神成淳司・植原啓介（慶應義塾大学）

15:00–16:00 量子をつなぐ

PANEL

— Quantum Network が拓く次のインターネット —

量子コンピュータや量子センサを相互に接続する「量子ネットワーク」。量子スイッチ、既存光ファイバーとの共存、ネットワーク制御、セキュリティ、標準化など、量子技術が実社会のインフラへ移る次の 10 年を考えます。

登壇者 暮石和宏（シスコシステムズ）／斉藤和広（KDDI 総合研究所）／徳山萌音（慶應義塾大学大学院）／バンミーター ロドニー（慶應義塾大学）

16:15–17:00 AI 時代のトラスト&セキュリティ

PANEL

—「徹底的に利用者目線」のアプローチで、あんしんをもっと便利に。—

AI 時代のデジタル社会でトラストをどう築くか。パスキーと本人確認、コンテンツの確からしさを保証する技術、詐欺電話対策、全社横断の「タイガーチーム」などの実践を題材に、トラスト&セキュリティのアーキテクチャ、フレームワーク、オペレーションを議論します。

登壇者 岡川隆俊・久保賢生・山田正徳・只松明洋（NTT ドコモ）／森山光一（慶應義塾大学・NTT ドコモ）

※ 最新のプログラム・登壇者情報は公式 Web サイトをご確認ください。

04 SFC の研究を都市へひらく

EVENT INFO

SFC では長年、Open Research Forum（ORF）などを通じて、キャンパスで生まれた研究成果を社会へ発信してきました。その蓄積を受け継ぐ SFC Tech は、2026 年に初めて開催する研究者・企業・行政・学生が、都市の中で新たに出会う場をつくる試みです。今後も継続的に開催し、将来的には SFC と社会を結び続ける「都市型研究プラットフォーム」へと発展させることを目指します。

名称	SFC Tech 2026
日時	2026 年 11 月 24 日（火）13:00～17:00
会場	慶應義塾大学 三田キャンパス 北別館　〒108-0073 東京都港区三田 1-4-65
共催	慶應義塾大学 SFC 研究所／慶應 SFC 学会／慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート
内容	研究展示・デモンストレーション、パネルディスカッション、ネットワーキング
対象	どなたでも参加可（企業・行政・大学・研究機関・スタートアップ・メディア等のご来場を想定）
参加	事前登録推奨（登録なしでも参加可）

※ 円滑な運営と来場者数把握のため、事前登録にご協力ください。

ACCESS 会場アクセス

会場は三田キャンパス構内ではありません。北別館は三田キャンパスから北へ徒歩約 7 分の別建物です。



OFFICIAL WEB

最新情報・全展示・登壇者

REGISTRATION

事前登録（推奨）

登録なしでもご参加いただけます

公式 Web サイト https://www.tech.sfc.keio.ac.jp/

参加登録 https://forms.gle/d53uGnhf8KRuh6XR6

お問い合わせ先 SFC Tech 2026 実行委員会

mail : tech2026@sfc.keio.ac.jp